

ドアによる挟まれ事故に注意！

子供がドアに指を挟まれて大泣き！こんな経験ありませんか？
東京都が行ったアンケート調査では、約3人に1人の子供がドアに挟まれた経験があり、中には骨折している子供もいました。
ドアの挟まれ事故は、0歳から発生しています。小さな子供にとっては、日常生活の様々な場面に危険が潜んでおり、注意が必要です。



～事故事例～

- ハイハイができるようになり、部屋に入ろうとドアを開けたらドアの後ろにいて指を挟んでしまった。
- 子供が2歳頃るとき、玄関のドアを開けたり閉めたりして遊んでいた。その時に指を挟まれてとっさに引いたら爪が全部剥がれて大量出血した。
- 子供が4歳のとき、リビングのドアの隙間で落ちたものを拾ったとき、風で戸が閉じてドアの隙間にたまたま置いていた指が挟まり切れて出血した。

～事故防止のポイント～

- ☆ 指挟み防止対策をしましょう。
 - ・ 指挟み防止グッズは、必要に応じて複数使用するなど、子供の手の届く高さを考慮して取り付けましょう。
 - ・ 住宅購入時など、指挟み防止仕様のドアの設置等も考慮しましょう。
- ☆ ドアを開閉するときは、子供がどこにいるのか良く確認しましょう。
 - ・ 小さな子供は、気づかないうちに後からついてきたり、ドアの隙間に手をかけたりしているので、注意が必要です。
- ☆ 子供をドアで遊ばせないようにしましょう。また、ドアに挟まれてケガをする危険があることを教えておきましょう。
- ☆ 室内用のドアにも、ドアの開閉を緩やかにするドアクローザ等の設置を考慮しましょう。

【関連情報】

- 東京都生活文化局
《ドアに挟まれて指を切断！？ ～ドアの安全性に関する調査を実施しました～》
http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/test/door_press.html